

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-127358

(43)Date of publication of application : 28.04.1992

(51)Int.Cl.

G06F 15/20

(21)Application number : 02-251150

(71)Applicant : SHARP CORP

(22)Date of filing : 19.09.1990

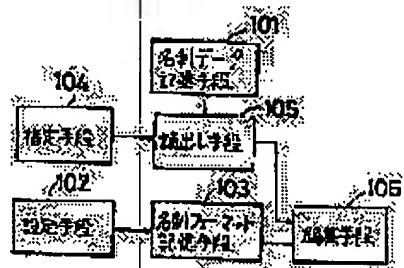
(72)Inventor : HORA SHINICHI

(54) DOCUMENT PROCESSOR WITH BUSINESS CARD EDITING FUNCTION

(57)Abstract:

PURPOSE: To generate the business card by editing easily and quickly card data by generating a card format, and inputting the card data stored in advance to a mention position of its card format.

CONSTITUTION: In a card data storage means 101, a mention matter of a card is stored in advance, and when a card format is generated by a setting means 102, its card format is stored in a card format storage means 103. Subsequently, when a matter to be mentioned in a mention position of the card format is designated by a designating means 104, the designated mention matter is read out of the card data storage means 101 by a reading-out means 105, the read-out mention matter is placed in the mention position of the card format by an editing means 106, and the card is generated. In such a way, the mention matter stored in advance is inputted automatically to its card format and the business card can be edited freely.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平4-127358

⑬ Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開

平成4年(1992)4月28日

G 06 F 15/20

5 3 8 M

6945-5L

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

⑯ 発明の名称 名刺編集機能付き文書処理装置

⑰ 特 願 平2-251150

⑱ 出 願 平2(1990)9月19日

⑲ 発 明 者 洞

慎 一

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社
内

⑳ 出 願 人 シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

㉑ 代 理 人 弁理士 野河 信太郎

明 細 書

1. 発明の名称

名刺編集機能付き文書処理装置

2. 特許請求の範囲

1. 名刺の記載事項をあらかじめ記憶した名刺データ記憶手段と、

名刺の形状及び記載位置を設定して名刺フォーマットを作成する設定手段と、

設定手段によって作成された名刺フォーマットを記憶する名刺フォーマット記憶手段と、

名刺フォーマットの記載位置に記載するべき事項を指定する指定手段と、

指定手段によって指定された記載事項を名刺データ記憶手段から読み出す読み出し手段と、

読み出し手段によって読み出された記載事項を名刺フォーマットの記載位置に配置して名刺を作成する編集手段と、

を備える名刺編集機能付き文書処理装置。

3. 発明の詳細な説明

(イ) 産業上の利用分野

この発明は、日本語ワードプロセッサや日本語による文書作成が可能なコンピュータなどの文書処理装置に関し、特に、名刺を作成して印字することが可能な名刺編集機能付き文書処理装置に関する。

(ロ) 従来の技術

従来、この種の文書処理装置においては、名刺を作成する場合、両面上で、住所、氏名、電話番号、会社名等の必要な記載事項を入力して名刺を作成し、それを印字するようにしている。

(ハ) 発明が解決しようとする課題

しかしながら、従来のこの種の文書処理装置においては、たとえ住所、氏名、電話番号、会社名等の名刺に記載するべき事項をすでに記憶している場合であっても、作成する名刺に対してこれらを取り入れることができないため、再度、住所、氏名、電話番号、会社名等の必要な記載事項を入力しなければならないという不具合があった。

この発明は、このような事情を考慮してなされたもので、目的とする名刺のフォーマットを入力

特開平4-127358 (2)

し、その名刺のフォーマットに、あらかじめ記憶した記載事項を自動的にとり込んで名刺を作成することができるようにした名刺編集機能付き文書処理装置を提供するものである。

(ニ) 課題を解決するための手段

第1図はこの発明の構成を示すブロック図である。

この図に示すように、この発明は、名刺の記載事項をあらかじめ記憶した名刺データ記憶手段101と、名刺の形状及び記載位置を設定して名刺フォーマットを作成する設定手段102と、設定手段102によって作成された名刺フォーマットを記憶する名刺フォーマット記憶手段103と、名刺フォーマットの記載位置に記載すべき事項を指定する指定手段104と、指定手段104によって指定された記載事項を名刺データ記憶手段101から読出し読出し手段105と、読出し手段105によって読出された記載事項を名刺フォーマットの記載位置に配置して名刺を作成する編集手段106とを備えてなる名刺編集機能付き文書処理装置である。

読出し手段105により、指定された記載事項が名刺データ記憶手段101から読出され、編集手段106により、読出された記載事項が名刺フォーマットの記載位置に配置されて名刺が作成される。

したがって、目的とする名刺フォーマットを作成することにより、その名刺フォーマットに対して、あらかじめ記憶した記載事項を自動的にとり込んで、名刺を自在に編集することができる。

(ヘ) 実施例

以下、図面に示す実施例に基づいてこの発明を詳述する。なお、これによってこの発明が限定されるものではない。

第2図はこの発明を日本語ワードプロセッサに適用した一実施例の構成を示すブロック図である。

この図において、1はイメージスキャナであり、各図の名刺を読み取って、それら名刺の形状、及びロゴや文字の記載位置をとり込み、制御部2に入力する。

3は仮名文字キーや放逐キー、カーソル移動キー、仮名漢字変換キー、処理状態を解除する解除

なお、この発明における名刺データ記憶手段101としては、フロッピーディスク装置、磁気ディスク装置等の外部記憶装置が主として用いられる。

設定手段102及び指定手段104としては、キーボード装置やタブレット装置、あるいはポインティングデバイス等が用いられる。

読出し手段105及び編集手段106としては、CPU、ROM、RAM、I/Oポートからなるマイクロコンピュータを用いるのが便利であり、名刺フォーマット記憶手段103としては、通常、その中のRAMが用いられる。

(ホ) 作用

第1図に示すように、この発明によれば、名刺データ記憶手段101には、名刺の記載事項があらかじめ記憶されており、設定手段102により、名刺フォーマットが作成されると、その名刺フォーマットは名刺フォーマット記憶手段103に記憶される。

そして、指定手段104により、名刺フォーマットの記載位置に記載すべき事項が指定されると、

キー、データを修正する修正キー、実行キー、終了キー、あるいはファンクションキー等を備えたキーボードである。キーボード3は、また、名刺データのリスト画面を表示するデータキー、検索項目を指定する検索キー、名刺フォーマットに記載事項をとり込むとり込みキー等を備えている。

このキーボード3は、各種の文字データとしての仮名文字列、及び各種のコマンドを制御部2に入力する。また、イメージスキャナ1で名刺の読取りが行われない場合には、イメージ入力モードにより、名刺の形状を作成し、その名刺に対してロゴや文字の記載位置を設定することが可能である。

さらに、キーボード3は、名刺のロゴや文字の記載位置に記載する項目を指定する。

制御部2は、CPU、ROM、RAM、I/Oポートからなるマイクロコンピュータによって構成され、ROMからなるプログラムメモリ4に書き込まれている制御プログラムにより、後述する各種のデータ処理を行う。

特開平4-127358 (3)

5はキーボード3から入力された仮名文字列を記憶するRAMからなる入力データメモリである。

6は漢字を含む多数の単語をその読み情報と共に記憶したROMからなる仮名漢字変換辞書であり、入力データメモリ5に記憶された仮名文字列が漢字仮名交じり文、つまり通常の文書に変換される際に参照される。

7はRAMからなる名刺フォーマットメモリであり、イメージスキャナ1から読込まれた名刺の形状、及びロゴや文字の記載位置を名刺フォーマットとして記憶する。

名刺フォーマットメモリ7は、また、名刺がイメージスキャナ1によって読取られず、キーボード3からのイメージ入力により、名刺の形状、及びロゴや文字の記載位置が設定された場合には、それらの形状、及びロゴや文字の記載位置を名刺フォーマットとして記憶する。

8は名刺に記載される名前、会社名、所属、役職、住所、電話番号、ファクシミリ番号、ロゴ、……、等の各種項目の記載事項をあらかじめ名刺

の記載位置に配置して名刺を作成する。

第3図は名刺フォーマットを設定する場合の表示画面の一例を示す説明図であり、この図に示すように、名刺フォーマットの設定は以下のように行う。

すなわち、イメージスキャナ1により、名刺の形状、及びロゴや文字の記載位置をとり込んで、表示装置9の画面に表示するか、あるいは、キーボード3からイメージ入力モードにより、表示装置9の画面を用いて実際に名刺の外形状を作成した後、その名刺に対しロゴや文字の記載位置を設定する。

そして、設定したロゴや文字の記載位置、つまり各記載欄11に、名刺データの項目（ロゴ、会社名、所属、役職、名前、住所、電話番号等）を順次ラベル付けしてゆく。

この場合、記載欄11が反転表示している所に、名刺データの項目の内の一つをラベル名として入力し、実行キーを押し下げると、順次、記載欄11の反転表示の位置が移動してゆくようになって

データとして記憶したフロッピーディスク装置などの外部記憶媒体からなる名刺データメモリである。

9はCRTディスプレイ装置やLC（液晶）ディスプレイ装置、あるいはELディスプレイ装置等からなる表示装置であり、仮名文字列や漢字仮名交じり文等の各種の文書を表示すると共に、名刺フォーマットや名刺データ等を表示する。

10は熱転写式のドットプリンタからなる印字装置であり、表示装置9の画面上で作成された名刺を印字する。

制御部2は、イメージスキャナ1、又はキーボード3から入力された名刺の形状、及びロゴや文字の記載位置を名刺フォーマットとして名刺フォーマットメモリ7に記憶する。

そして、名刺フォーマットに対して、キーボード3から、ロゴや文字の記載位置に記載するべき項目が指定されると、その指定された項目に対応する記載事項を名刺データメモリ8から読出し、読出した記載事項を、対応する名刺フォーマット

おり、全てのラベル付けが完了した場合には、終了キーを押し下げて名刺フォーマットの設定を終了する。

第4図は名刺フォーマットの記載欄に記載事項をとり込む場合の表示画面の一例を示す説明図であり、この図に示すように、記載事項のとり込みは以下のように行う。

すなわち、まず、データキーの押し下げにより、名刺データメモリ8から名刺データを読出し、表示装置9にリスト画面として表示する。このとき、とり込む名刺フォーマットはウィンドウ表示12として表示装置9の画面に同時に表示される。

続いて、検索キーにより、名刺データの中から所望の記載事項を検索することにより、記載事項の選択を行う。この場合、カーソル移動キーで反転表示13の位置を移動させることにより、名刺データの項目を選択し、これを検索項目とする。そして、この選択した検索項目、つまり反転表示13の項目で検索を行い、目的とする記載事項へ反転表示13を移動する。あるいは、カーソル移

特開平4-127358(4)

動キーにより、所望の記載事項に反転表示13を移動し、これにより記載事項の選択を行う。

次に、とり込みキーの押し下げにより、ラベル付けした名刺フォーマットの各記載欄に対応する位置に、それぞれ検索した記載事項をとり込み、名刺を作成する。

その後、解除キーで一連の操作を終了するが、とり込んだ記載事項に修正の必要がある場合には、修正キーを押し下げ、カーソルを修正位置に移動して、修正後、実行キーを押し下げることにより修正を行う。

次に、このような制御部2の処理動作の内容を第5図に示すフローチャートに従い説明する。

まず、イメージスキャナ1か又はキーボード3によって、名刺の形状、及びロゴや文字の記載位置のとり込みが行われて(ステップ51)、名刺フォーマットが作成され、その名刺フォーマットに対して、キーボード1から、ロゴや文字の記載位置へのラベル付けが行われる(ステップ52)。

その後、名刺データの呼び出しが指示されると、

名刺データメモリ8から名刺データを読み出して画面上に表示し(ステップ53)、指定された検索項目に基づいて記載事項を検索する(ステップ54)。

次に、検索した記載事項を名刺フォーマットにとり込み(ステップ55)、とり込んだ記載事項に修正があるか否かを調べる(ステップ56)。このとき、修正がある場合には、修正位置が指定された後、修正が行われるが(ステップ57)、この修正を名刺データにとり込むように指示があったときには(ステップ58)、名刺データへ修正済みの記載事項をとり込む(ステップ59)。

そして、その後、名刺の作成を実行し印字する(ステップ60)。

このようにして、イメージ入力により各種の名刺フォーマットを入力し、その名刺フォーマットに対してラベル付けを行うことにより、あらかじめ記憶した名刺データから、名刺フォーマットへ容易に記載事項をとり込むことができ、それにより、名刺データを容易に、かつ迅速に名刺のフ

ーマットに編集して名刺を作成することが可能となる。

(ト) 発明の効果

この発明によれば、目的とする名刺フォーマットを作成し、その名刺フォーマットの記載位置に、あらかじめ記憶した名刺データをとり込むようにしたので、名刺データを容易に、かつ迅速に名刺のフォーマットに編集して名刺を作成することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の構成を示すブロック図、第2図はこの発明の一実施例の構成を示すブロック図、第3図は名刺フォーマットを設定する場合の表示画面の一例を示す説明図、第4図は名刺フォーマットの記載欄に記載事項をとり込む場合の表示画面の一例を示す説明図、第5図は実施例の動作を示すフローチャートである。

1……イメージスキャナ、2……制御部、
3……キーボード、4……プログラムメモリ、
5……入力データメモリ、

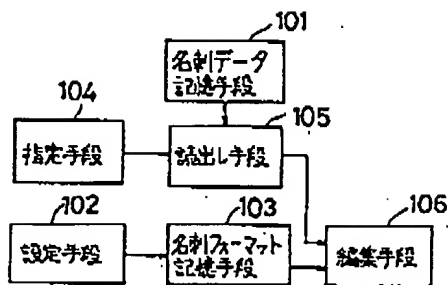
6……仮名漢字変換辞書、
7……名刺フォーマットメモリ、
8……名刺データメモリ、9……表示装置、
10……印字装置。

代理人 弁護士 野 河 信太郎

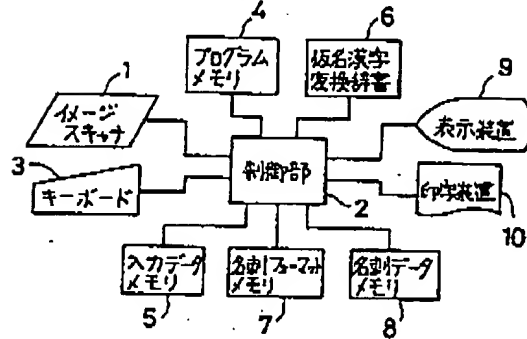


特開平4-127358(5)

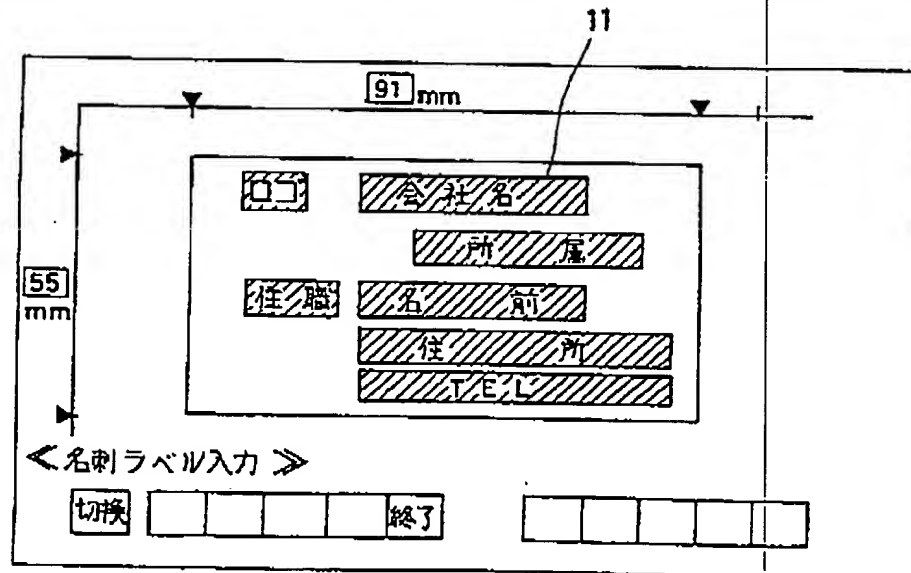
第 1 図



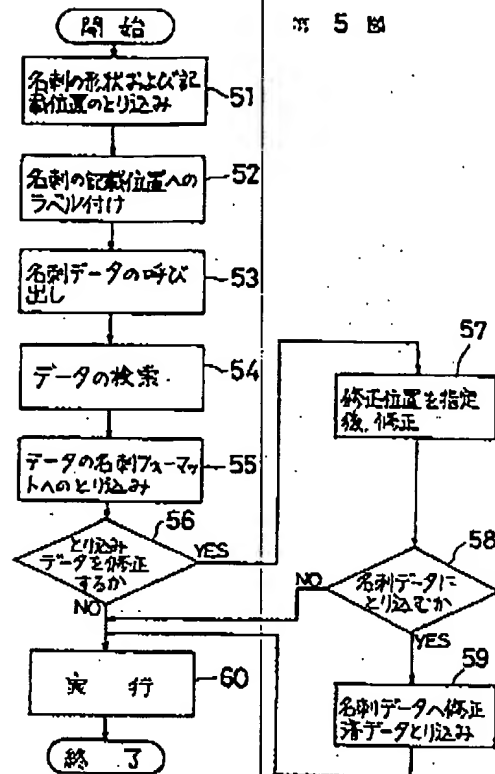
第 2 図



第 3 図



第 5 図



特開平4-127358(6)

第 4 図

13

NO	名前	会社名	所属	役職	住所	TEL	Fax	ロゴ	備考
1	秋田太郎	犬山商事	第1営業	次長	東京都.....	(06) 074683			
2	井上大五郎	海川物産							
3	植村次郎	立川産業		相談係					
4	江川裕二	大阪テレビ		係長					
5	大川三平	池田興業							

12

会社名

所 属

役 職

名 前

住 所

TEL

検 索

検索項目 : 名前

大川 三平

《名 刺 デ ー タ》

キーで検索項目を変更できます。